



法權撤廢及行政權移讓ニ伴フ財政上調整要綱

康三四
企畫處

方針

法權撤廢及行政權移讓ニ伴ヒ從前日本側ニ屬セシ事務、施設又ハ職員ニシテ處置セラルベキモノノ經費ハ爾後夫々之ヲ引受クル主體ニ於テ支辨スルヲ原則トシ之ニ伴フ當該主體ノ負擔増加ニ對シテハ別ニ法權撤廢及行政權移讓ノ趣旨ニ從ヒ適宜調整ヲ行フコトトシ在滿日本人ノ負擔激増ヲ避クルト共ニ一般負擔ノ公平ヲ期シ廣ク滿洲國ノ健全ナル發達ヲ圖ルモノトス

要領

一、法權撤廢及行政權移讓ニ伴ヒ日本政府ガ滿洲國ニ移管スベキ滿洲國內ニ於ケル警察司法其ノ他ノ事務又ハ事業ニ對シ從前爲シ來リタル支出ハ當該事務又ハ事業ニ伴フ收入ト共ニ爾後滿洲國之ヲ引受クルモノトス

二、法權撤廢及行政權移讓ニ伴ヒ滿鐵ガ滿洲國內ニ於ケル教育、社會、衛生、土木等ノ事務又ハ事業ニ對シ從前爲シ來リタル支出ハ當該事務又ハ事業ニ伴フ收入ト共ニ爾後日本側ニ留保スル教育ニ付テハ日本政府補助ノ下ニ當該經營主體之ヲ引受ケ其ノ他ハ當然社業ノ範圍ニ屬スル部分ヲ除クノ外滿洲國之ヲ引受クルモノトス（施設引繼要領參照）

三、前各號ノ外滿洲國ハ日本側ニ留保スル國內日本人教育ニ關シ一定ノ標準ニ依リ其ノ經費ヲ分擔支出スルト共ニ日本政府ハ滿洲國ニ移讓スル國內日本人教育ニ關シ一定ノ標準ニ依リ其ノ經費ヲ分擔支出スルモノトス（在滿日本人子弟教育經營要領中參照）

四、滿鐵ハ第二號ニ依リ經費ヲ免ルルニ因リ得ベキ餘裕ノ内ヨリ別ニ協定スル所ニ從ヒ滿洲國ニ對シ一定金額ヲ財政上援助スルモノトス

五、法權撤廢及行政權移讓ニ伴フ滿洲國ノ歲計膨脹ニ基ク國防費分擔金ノ増加ハ適宜之ヲ調節スルモノトス

六、滿鐵所有ノ施設ニシテ處置セラルベキモノニ對スル補償ニ付テハ日本政府ニ於テ適宜ノ方法ヲ講ズルモノトシ日本政府所有ノ施設ニシ

テ滿洲國ニ移管セラルル事務又ハ事業ニ供セラレ居ルモノハ原則ト
シテ實質上無償讓渡トスルモノトス（施設引繼要領參照）